

第3回鹿児島大学グローバルセンターシンポジウム

鹿大『進取の精神』支援基金

学生海外派遣・留学生受入推進・若手研究者支援事業

平成 29 年度 事業報告と今後の展望

鹿児島大学グローバルセンターは、鹿大「進取の精神」支援基金をもとに行われている三つの事業、学生海外派遣・留学生受入推進・若手研究者支援事業についての平成 29 年度の事業報告と今後の展望について議論する「第3回鹿児島大学グローバルセンターシンポジウム「鹿大『進取の精神』支援基金」学生海外派遣・留学生受入推進・若手研究者支援事業 平成 29 年度 事業報告と今後の展望」を 7 月 9 日に学習交流プラザ 2 階ホールにて開催しました。

シンポジウムは二部構成になっており、第一部では、学生海外派遣事業(長期派遣)から教育学部 4 年生の地下智隆さんによる報告「日本(鹿児島)を代表するグローバル教員のリーダーに～フィンランドとカンボジアでの授業実践による自己変容を通して～」、同派遣事業(中期派遣)から理工学研究科博士前期課程化学生命・化学工学専攻 2 年の宮崎優太さんによる報告「City College of NY 留学報告」、同派遣事業(地域貢献型海外研修)から担当教員である尾崎孝宏法文学部教授による韓国研修報告がありました。留学生受入推進事業からは、担当教員の市島佑起子グローバルセンター外国人留学生部門講師およびタイ国カセサート大学からの留学生 IMPITAKS AMIND(エイマイ)さん、KHANJANTUEK CHUTIWAT(ネック)さんから報告がありました。若手研究者支援事業(地域貢献型若手教員海外研修支援)からは、鶴戸聡法文学部准教授による、台湾国立成功大学での研修報告が行われました。

第二部では、グローバルセンター長馬場昌範教授による「鹿児島大学国際化の基本方針」の内容説明と、それに基づく鹿児島大学国際化の方向性の説明の後、前田芳實学長による「21 世紀版薩摩英国留学生派遣事業『UCL 稲盛留学生』について」の報告が行われ、その後、前田芳實学長、清原貞夫教育担当理事、馬場昌範グローバルセンター長、畝田谷桂子グローバルセンター教授、中谷純江グローバルセンター教授によるパネルディスカッションが行われました。パネルディスカッションでは「鹿児島大学における地域や地域企業を活性化するグローバル人材像」について議論され、フロアからも活発な意見が出されました。

当日は、登壇者 14 名(学長、教育担当理事、教員 8 名、学生 4 名)、地元企業を含む支援会関連の方々 15 名、教員 16 名、職員 38 名、学生 3 名の合計 86 名の参加者があり、ご支援、ご協力いただいているの方々への報告および今後の展望について方向性を示すことができたシンポジウムとなりました。



シンポジウムの様子



パネルディスカッションで意見を述べる
前田芳實学長



参加者との意見交換

第3回 鹿児島大学グローバルセンターシンポジウム

鹿大「進取の精神」支援基金

学生海外派遣・留学生受入推進・若手研究者支援事業

平成29年度 事業報告と今後の展望

平成29年度の本事業内容を報告を行い、グローバルな視点からの地域貢献・地域活性化の可能性と課題を議論することで、今後の本事業の改善に資することを目的としております。

日時：平成30年7月9日（月）13:30-16:30

場所：鹿児島大学 学習交流プラザ2階ホール

主催：グローバルセンター

第1部 平成29年度事業報告

- 13:30 - 開会の挨拶 学長
- 13:35 - 学生海外派遣事業（長期派遣）フィンランド、カンボジア 派遣学生報告
- 13:55 - 学生海外派遣事業（中期派遣）米国 派遣学生報告
- 14:15 - 若手研究者支援事業（地域貢献型若手教員海外研修支援）
台湾 派遣教員報告
- 14:35 - 留学生受入推進事業（協定校学部留学生地域交流推進プロジェクト）
担当教員および受入留学生（タイ）の報告
- 14:55 - 学生海外派遣事業（地域貢献型海外研修）韓国 担当教員報告

第2部 パネルディスカッション

- 15:30 - 「進取の精神」支援基金による鹿児島大学のグローバル化教育の将来
学長、理事 教育担当、副学長 国際企画推進担当、
グローバルセンター教授
- 16:15 - 閉会の挨拶 理事 教育担当



お問い合わせ：鹿児島大学グローバルセンター
global3@gic.kagoshima-u.ac.jp

第3回 鹿児島大学グローバルセンターシンポジウム

「鹿大『進取の精神』支援基金」学生海外派遣・留学生受入推進・若手研究者支援事業

平成29年度 事業報告と今後の展望

目的：

『鹿大「進取の精神」支援基金』は、鹿児島大学が地域活性化の中核的拠点の構築を目指し、また世界に開かれた教育・研究拠点の形成を図るため、質の高い教育研究の推進及び地域貢献活動の一層の活性化に必要な支援を行い、自主自律と進取の精神を尊重し、地域とともに社会の発展に貢献することを目的として平成27年4月に創設されました。

この基金のうち一般資金による事業は、学生の海外派遣や留学生受入支援、若手研究者の育成に活用されており、将来鹿児島地域において、あるいは鹿児島地域と繋がって、社会の発展のために活躍するグローバル人材を育成することを主な目的としています。平成28年度から、これらの事業に関連が深いグローバルセンターが学生海外派遣事業、留学生受入推進事業、若手研究者支援事業の主な部分を実施してきました。

本シンポジウムは、学内外に向けて広く平成29年度事業報告を行い一層の周知を図るとともに、本学の国際化、およびグローバルな視点からの地域貢献・地域活性化の可能性と今後の課題などについて議論を深め、今年度以降の本事業の改善に資すること目的としています。

日時：平成30年7月9日（月）13:30-16:20

場所：鹿児島大学学習交流プラザ学習ホール

プログラム：

第1部 平成29年度事業報告

- 13:30-13:35 開会の挨拶 学長 前田 芳實
- 13:35-13:55 学生海外派遣事業（長期派遣）学生の報告 教育学部4年 地下 智隆
- 13:55-14:15 学生海外派遣事業（中期派遣）学生の報告
理工学研究科博士前期課程化学生命・化学工学専攻2年 宮崎 優太
- 14:15-14:35 若手研究者支援事業（地域貢献型若手教員海外研修支援）派遣教員の報告
法文学部准教授 鶴戸 聡
- 14:35-14:55 留学生受入推進事業担当教員と受入留学生の報告
グローバルセンター外国人留学生部門講師 市島 佑起子
タイ国カセサート大学 IMPITAKS AMIND(エイマイ)、KHANJANTUEK CHUTIWAT(ネック)
- 14:55-15:15 学生海外派遣事業（地域貢献型海外研修）担当教員の報告
法文学部教授 尾崎 孝宏

(15:15-15:30 休憩)

第2部 パネルディスカッション 「進取の精神」支援基金による鹿児島大学のグローバル化教育の将来」

15:30-16:15

- ・昨年度制定した「鹿児島大学国際化の基本方針」の内容説明とそれに基づいた鹿児島大学国際化の方向性

難治ウイルス病態制御研究センター・教授・

副学長 国際企画推進担当・グローバルセンター長・馬場 昌範

- ・21世紀版薩摩英国留学生派遣事業「UCL稲盛留学生」について

学長 前田 芳實

【パネルディスカッション】

学長 前田 芳實、理事 教育担当 清原 貞夫、グローバルセンター長 馬場 昌範

グローバルセンター 教授 畝田谷 桂子、中谷 純江

16:15-16:20 閉会の挨拶

理事 教育担当 清原 貞夫